

住職の写真日記より【令和2年4月】

コロナ一色の毎日でした。4月27日現在、千歳の感染者は63人、道内2番目の多さですが、人口に対する感染率はおそらく道内で一番高いかも。法事の取りやめは10件以上、月参りを休む方も7割、お寺の行事も8月いっぱいまで中止に。どうなるんでしょうね。



2日 アベノマスク

確かに不足しているのですが、国がやるような政策ではないような気がしますね。



5日 純正、帰省しました

コロナで講義も部活も休みになり早々に北海道へ。一番喜んだのは坊守かな？



8日 1回だけの法話会

ほとんど行事を中止した中、試しに、時間短縮で一度だけ本堂で開催しました。



10日 大林宣彦監督死去

この監督さんの作品が好きで、尾道三部作などほとんど観ました。ご高齢ではありましたがとても残念です。



14日 前坊守、共和へ

私が留守番して、純正の運転で明善寺さんへ。前坊守が行くのは、おそらく20年ぶりぐらいになるかも。



15日 手作りマスク

坊守の従姉妹さんが作ってくれました。千歳で集団感染が出てから、このマスクをつけてお参りしています。



19日 外出自粛の中で

日に日に増えていく千歳の感染者。さらに外出自粛して、なぜか三人でテレビ体操をやっていました。



22日 永代経法要を院内で

無観客試合ならぬ無参拝客法要で3日間、家族・法務員で勤めました。何とも不思議な感じがしました。



26日 五月人形の段飾り

昨年の報恩講講師、名和先生のお寺の檀家さん宅にて。こんなのあるんですね。初めて見ました。

坊守の独り言

新型コロナウイルスによって、生活が一変しました。

当たり前の日常が制限される毎が続いています。

お寺も4月8日の法話会を1時間に短縮してお勤めしました。この法座を最後に8月までお寺での法要、行事は中止します。先日婦人会会員に総会等の中止のご連絡をしたところ、「お寺に行けなくて寂しい。みんなに会えるのを楽しみに待ちます」と温かいお言葉を数名のご婦人からいただきました。

月参り、ご法事もお休みするご家庭が多くなりました。

外出自粛要請時は、お寺から各ご家庭に月参り有無の確認電話をしています。

まだまだ終息が見えない日々が続きますが終息した折には当たり前と感じた日常が「有難い日常」に思える私でありたいと過ごす毎日です。